

害虫対策・駆除

//// シロアリ防除施工 ////

S・P・M(サニタリー・ペスト・マネジメント)



シロアリによる被害が増加傾向に!?

シロアリは暗くて湿った場所を好むため、光の当たらない木材の内部を食べ進めていくため、表面的な被害が見えにくいことが特徴です。建物の木材を食害することで、建物の強度が低下し、住まいの寿命を縮めたり地震などの災害時には倒壊する危険性が高まります。近年は繁殖能力が高い外来種が増加しており以前よりシロアリが活動しやすく増加傾向にあります。



日本のシロアリ

日本では主に「ヤマトシロアリ」と「イエシロアリ」の2種類が生息しておりますがその性質は大きく違ってきます。

	ヤマトシロアリ	イエシロアリ
群飛の時期	3月～5月	6月～7月
走光性	無	有
被害場所	床下中心	床下・壁・天井裏
コロニーサイズ	数千～数万	数千～数百万

シロアリの防除施工方法

バリア工法

床下や柱などに薬剤バリアを作る方法です。効果は即効性が期待でき、工期は通常1日で終了となります。

- 被害に迅速に対応することができる
- 再発予防の効果が高い
- 人が入れないと施工ができない
- 多量の薬剤を使用する



CHECK

床下の湿度が高いとシロアリが発生しやすくなります。そのため床下に換気扇を取り付けるなど換気をすることで、シロアリや腐朽菌の発生や繁殖を防ぎシロアリ被害を防ぐことができます。

